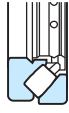


スラスト自動調心ころ軸受

スラスト自動調心ころ軸受



内径 60～500 mm

スラスト自動調心ころ軸受は、アキシャル負荷能力が大きい。また、アキシャル荷重がかかっている状態ではある程度のラジアル荷重（同時に作用するアキシャル荷重の55%以下）も負荷することができる。ただし、高速回転には適さない。

ハウジング軌道盤の軌道面が球面になっているため、調心性があり、軸の傾きもある程度許容できる。

通常、油潤滑で用いられることが多い。



主要寸法	JIS B 1512に準じている。
公差	JIS B 1514-2の0級に準じている。(A69ページ表7-10参照)
推奨はめあい	(A92ページ表9-8参照)
必要最小アキシャル荷重	軸受の性能を発揮させるためには、ある一定以上の荷重をかける必要がある。 (A110ページ参照)
標準保持器形式	銅合金もみ抜き保持器（補助記号：FY）
許容調心角	軸受系列によって異なるが、一般には0.035～0.052 rad (2°～3°) である。
等価アキシャル荷重	動等価アキシャル荷重 $P_a = 1.2F_r + F_a$ (ただし、 $F_r/F_a \leq 0.55$) 静等価アキシャル荷重 $P_{0a} = 2.7F_r + F_a$ (であることが必要)